

オプアウト文書

第5回日本褥瘡学会実態調査

当院は、日本褥瘡学会が定める、全国褥瘡実態調査の対象病院です。褥瘡の実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的なデータを得るために、5年に1回、10月20日「床ずれ予防の日」前後に、入院中患者さんの褥瘡について日本褥瘡学会に報告します。

詳細はこちら(PDF)をご参照ください。

1. 研究の名称

第5回日本褥瘡学会実態調査

2. 研究の実施体制

研究責任者：藤原 浩

所属組織：新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院

所属部署：皮膚科

住所：南魚沼市浦佐 4132

電話：025-777-3200

3. 研究の目的・意義・科学的合理性の根拠

褥瘡の実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的なデータを得る。

4. 研究の方法・期間

日本褥瘡学会から送付された調査票に基づき、2021年10月任意日の入院患者の褥瘡について、部位、重症度を記載する。

なお、このデータは、入院基本料の算定要件として、実態調査とは関係無く全ての入院患者で常に評価されているものである。

5. 研究対象者の選定方針

2021年10月任意日の褥瘡を有する入院患者全て

6. 統計学的事項

0～3人の予定

7. インフォームド・コンセント

本研究は、通常診療のデータを用いる非介入観察研究である。侵襲はない。人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則り、あらかじめ情報を通知・公開し研究対象者等が拒否できる機会を保障する方法（オプトアウト）とする。オプトアウトは、病院ホームページへの掲載とする。なお、本研究の被験者になることを希望しない旨の申し出があった場合は、直ちに当該被験者の診療情報を解析対象から除外し、本研究に使用しないこととする。

8. 個人情報の取扱い

非連結匿名化した情報を日本褥瘡学会に送付する。

9. リスク・負担と利益

本研究により被験者が直接受ける利益はない。

研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性がある。

また、本研究は既存試料を用いた後向き研究であり、被験者に直接的不利益は生じない。

10. 試料・情報の保管・廃棄

本研究におけるデータは、日本褥瘡学会に送付された後、石川県立看護大学、紺家教室で管理、統計学的解析が行われる。解析後のデータは、日本褥瘡学会で、研究終了後5年間保存管理後破棄、USBメモリーのデータは永久保存の予定。

11. 研究機関の長への報告

調査終了、調査票発送を報告する。

12. 資金源・利益相反

日本褥瘡学会資金

利益相反無し

13. 研究に関する情報公開の方法・研究成果の帰属

本研究の成果は学会発表及び論文発表を予定している。

その際、個人を識別できる情報は一切含まない。

相談対応連絡先

魚沼基幹病院皮膚科 電話 025-777-3200